

令和8年度の主な天文現象

※ 作図は ステラナビゲータ12を使用しています



6/9 金星と木星の接近

きんせい もくせい せつきん

6月9日の夕方、金星と木星が1.6度ぐらいまで接近します。金星の明るさはマイナス4等級、木星はマイナス2等級とたいへん明るいので、西の空に望遠鏡を使わなくても観望できます。前後数日間の位置の変化もおもしろいです。

12/14頃 ふたご座流星群

ざりゆせいぐん 3大流星群

今年は月明かりの影響がなく好条件です。14日の夜は1時間あたり60個ほどの流星を見ることができます。

12月14日00時頃の星空

8/12頃 ペルセウス座流星群

ざりゆせいぐん 3大流星群

今年は月明かりの影響がなく好条件です。12日の夜も13日の夜も1時間あたり40個ほどの流星を見ることができます。

8月13日02時30分頃の星空

12/16 月面X

げつめんエックス 18時半～21時

月と太陽の位置関係で、特別に条件がそろうと、月の地形が「X」の文字のように見えることがあります。天体望遠鏡で見つけてみませんか？ ※望遠鏡を使わないと見えません。

9/19 金星が最大光度

きんせい さいだい こうど

夕方、西の空に「よいの明星」として見えている金星がこの日最も明るくなります。せんだい宇宙館の望遠鏡を使えば、昼間でも金星を見ることができます。

金星が最大光度の頃の写真

2/20 火星最接近

かせい さいせつきん

火星が2年ぶりに接近します。今回は、視直径13.8秒まで大きく見えます。望遠鏡では北極付近の白い氷や、火星表面の黒っぽい地形を見ることができます。

9/25 中秋の名月

ちゅうしゅう めいげつ

中秋の名月は、旧暦8月15日の月を指し、特に美しいとされます。ちなみに、満月は翌々日の27日です。

せんだい宇宙館 夜間の観察時間

日没時間を考慮した 季節のおすすめ時刻表です。
※ 最終入館時刻は20:30 となります。

1月～2月	18:30～21:00
3月	19:00～21:00
4月	19:30～21:00
5月	19:45～21:00
6月～7月	20:00～21:00
8月	19:30～21:00
9月	19:00～21:00
10月～12月	18:30～21:00

のマークは観望会を実施します。

※ 特別な天文現象は観望時間を延長！天候不良時は中止の場合があります。

ホームページ



せんだい宇宙館 TEL 0996-31-4477

〒895-0005 鹿児島県薩摩川内市永利町 2133 番地 6 (寺山いこいの広場内)

